

健康経営の具体的な成果

運動習慣者率

課題の内容	運動習慣者率は22.8%（2019年度）であり、全国平均である男性33.4%、女性25.1%（厚生労働省「国民健康・栄養調査報告」）よりも低い状態でした。運動習慣者率を向上させることが課題です。
施策	歩数や睡眠スコア、消費カロリー等を計測できるウェアラブル端末の購入費用を補助しています。また、グループ役職員向けにウォーキングイベントを開催し、運動習慣の定着を促進しています。
得られた効果	ウォーキングイベント実施前後に行ったアンケート調査（2025年度）では、運動習慣が「ほとんどない」と答えた人の割合は26%から8%に減少しました。また、運動習慣者率は、25.5%（2023年度）、25.9%（2024年度）、25.5%（2025年度）と向上しました。

働き方改革

課題の内容	超過労働時間数※が70時間を超える従業員が年間200人超発生（2017年度以前）しており、生産性向上による長時間労働を是正することが課題です。
施策	働き方改革運動～スマートワーキングチャレンジ～を実施し、「マネジメント改革」「意識改革」「業務改革」「能力開発」の4つの分野に取り組んでいます。
得られた効果	2017年に施策を実施して以降、超過労働時間数70時間超の人数は206人（2017年度）から22人（2025年度）まで減少しました。その他にも、時間外労働時間数は13.8時間（2017年度）から4.4時間（2025年度）まで減少し、有給休暇取得率は45.4%（2017年度）から79.8%（2025年度）まで増加しました。

※超過労働時間数＝1ヵ月の実労働時間数－（40×該当月の暦日数÷7）